

デジタル歯科技術と臨床の融合 - 審美補綴治療アップデート -

日時：2026年5月17日（日）10:00～12:30

会場：日先研事務局 TEL: 03-5476-2004 e-mail: nissenken@dental.email.ne.jp

受講料：無料 日先研会員限定 定員25名（先着）

講師：野本 俊太郎先生 東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座 准教授



【略歴】

東京歯科大学歯学部を2002年(平成14年)卒業後、同大学大学院歯学研究科(歯科補綴学)を修了。
米国ボストン大学 GS Dental Medicine Dept. of Restorative Sciences/Biomaterials 客員研究員、
東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座助教、同講師を経て現職。
主な研究テーマはハイブリッドレジンやジルコニアなどメタルフリー治療について

【所属学会】

- 日本歯科専門医機構認定 補綴歯科専門医
- 日本補綴歯科学会 指導医
- 日本歯科審美学会 常任理事・認定医
- 日本接着歯学会 理事・指導医・専門医
- 日本デジタル歯科学会 専門医

抄録

近年、歯科医療の現場では ICT 技術の導入が急速に進み、それに対応した新たな知識と技術が求められています。なかでもクラウンブリッジ補綴学の領域では、光学印象、ラボスキャナー、ミリングマシン、3D プリンターなどのデジタル技術が次々と導入され、それに用いられる補綴材料も大きく進歩しています。

本講演では、光学印象や CAD/CAM 技術を中心としたデジタル歯科技術について概説するとともに、ハイブリッドレジンやジルコニアといった補綴材料の特性を整理します。さらに、歯科臨床における接着操作や研磨作業など、日常診療に役立つ実践的なポイントについても触れます。

またクラウンブリッジ補綴学の領域において、デジタル歯科技術がこれまでどのように導入され、現在に至っているのかを、日本の保険診療との関わりも踏まえながらご紹介します。その上で、これらの技術と材料を歯科臨床にどのように活かしていくか、その道筋の一つをお示ししたいと考えています。

<講師紹介>

今回は、東京歯科大学クラウンブリッジ補綴学講座准教授の野本俊太郎先生をお迎えしご講演いただきます。野本先生はハイブリッドレジンやジルコニア等のメタルフリー補綴とデジタルワークフローの研究で国内外に高い評価を受ける第一人者です。本講演では、米国ボストン大学での研究経験や学会での指導的実績を踏まえ、光学印象、CAD/CAM、3D プリントを中心に、エビデンスに裏付けられた最先端の材料選択や接着・研磨など臨床に直結する実践的知見をわかりやすくご提示いただけます。また、令和8年度診療報酬改定において我が国の健康保険制度はついに『脱・貴金属』戦略の最終段階に入ります。保険歯科診療における補綴臨床への対応や品質管理についても具体的にご示唆をいただく予定です。 大橋 功(関東・甲信越地区 地区会長)

2026年5月17日 関東・甲信越地区開催 講演会申込方法

下記必要事項をご記入の上、5月11日（月）までにQRコードまたは日先研ホームページより申込みをお願いします。
(<https://www.nissenken.org/>)



必要記入事項 ① 氏名 ② 所属医療機関、診療科 ③ 所属医療機関 住所 ④ e-mail ⑤ 連絡先電話番号